

第2回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

(アンケート調査結果)

開催日 平成19年11月12日(月曜日)

時間 19:00~20:30

場所 長崎大学医学部・歯学部附属病院 歯学部第一講義室

出席者 56名 回答者29名

出席者の職種

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| ① 看護師 | 12名(大学病院:3名 地域拠点病院:1名 その他:2名 未記入:6名) |
| ② 薬剤師 | 1名(地域拠点病院:1名) |
| ③ 検査技師 | 0名 |
| ④ 医師 | 5名(大学病院:3名 地域拠点病院:1名 未記入:2名) |
| ⑤ ソーシャルワーカー | 10名(地域拠点病院:2名 その他:3名 未記入:5名) |
| ⑥ その他 | 1名(事務:1名) |

今回の講演『がん患者・家族からの相談への対応』の模擬相談より の内容について

① よかったところ

- ・ こういう機会に初めて参加させて頂きました。相談業務の難しさ、言葉を選ぶことの大変さなど実感できました。百人百様の相談がある中で、ケースバイケースの対応は本当に厳しいものがあると思われませんが、頑張ってください。患者様やご家族は「答え」を求めているとは限らず、自分がもし当事者だった場合、話を聞いて頂くだけでどれほど救われるかと感じました。チームで支えていけたらと思います。本日の企画に感謝致します。
- ・ 現実味を帯びており、わかり易かった。
- ・ 多職種が関わっているところ
- ・ グループワークで他の参加者の意見が聞けて良かった。
- ・ ロールプレイですが、とても本人の気持ち(相談者の不安が解決できてない、納得できてない)がよく伝わりました。患者に入りすぎず、役割を果たすことも大切ですね。
- ・ ロールプレイなど現実に則した内容でより理解が深まった。
- ・ Dr, Ns, SWなどいろいろな立場からの意見が聞けて良かった。
- ・ Te1での確認事項5点が良かった。患者様と接する時にとっても役立つことと思います。
- ・ 本当にありそうで、対応に苦しむケース(事例)だったことでリアリティがあった。

他のMSWの対応等勉強になった。Nsの対応等もグループで話せて勉強になった。

- 具体的な相談。参考になる。
- 施設の垣根を越えていろんな方の意見が聞けたところ。相談にテーマをしぼっていたので看護師として患者様の気持ちを考える機会となった。
- 準備ごくろうさまでした。ロールプレイすばらしかったです。
- 模擬相談の中に私達の対応など重なり、またこの中に言葉の使い方、相談のポイントなど実際に役に立つ事が多く、ありがたく思います。
- 模擬相談の内容はどこにでもあるような内容だったので改めていつもの話について見つめ直すことができました。
- 具体的な相談の対応の仕方が説明され参考になりました。DrやMSWの意見が聞けてよかった。チーム医療の大切さをわかりました。
- 研修に行くことができなかったので、実際の内容に近い形で受講できたのではないかと思う。
- 実際のケースの展開やMSWの意見を聞かせていただき、大変参考になりました。
- 実践があったところ。
- ポイントをまとめてあるところがとても良かった。
- 具体的な相談の流れがわかりとても良かった。SWとしてどこまで対応していいのかがいつも悩むところなので、いろいろな意見が聞けてよかった。自分の足りない部分に気づくことができてよかった。
- 後半のグループワークで意見交換ができてよかった。
- MSWの苦勞がわかった。Drだけではがん診療が進まないことを再確認できました。
- チーム医療で患者様を支える具体的な場面を体験できたところが良かった。
- 普段、末期の状態の方の相談が多いため、告知を受けたばかりの相談の対応方法など勉強になりました。
- すごく忠実に再現されていてすばらしかったです。グループワークがあったところがよかったと思います。
- 事例について実演やグループワークしたところ（深く考えることができた）。

② 気になったところ

- 具体的相談のステップがわからなかった。
- 長崎大学の相談支援センターの役割・相談件数などが不明。
- 患者の思いを表出させることで患者が自分の課題を見つけられることもあると思いますが、MSWの範囲かカウンセラーか相談業務の役割はどこまで期待されているのかむずかしいですね。Ptに入りすぎる看護とMSWの役割の違いが確認できたように思います。限られた時間で何をやりたいか、やれるか、やるべきか、です

ね。

- ・ 時間の都合で途中までだった模擬相談の最後が気になった。どのように次につなげたのか、そのまま終了したのか〜も知りたかった気が。
- ・ T e l 相談の場合、悪性リンパ腫の病気に関する質問について詳しく述べていたところ。病名はついていても病気の進行度、転移の有無 etc で病状は個別性が強いので、一般的な説明の後、D r の説明をちゃんと聞くように話した方が良いと思う。
- ・ 机とイスが狭い。
- ・ 他の内容も聞いてみたかった。
- ・ がん支援に対しては、これからますます多方面から充実し、がん拠点病院、支援センターだけでなくあらゆる医療機関で同じサービスが受けられるようになるのか？気になります。
- ・ 拠点病院、支援センターの外部活動について！
- ・ ロールプレイの中で、フィードバックがなかったが、本当にフィードバックなしに患者さんの気持ちを受け止めることができるのか。
- ・ S W がどこまで治療的内容を言及するのか。D r 側からの意見を少し聞いてみてよかったですのではないかと。
- ・ グループワークという方法を取られていたが、顔も名前も知らない方と話すのに抵抗があった。
- ・ 今日、出席はS Wの方が主だったのでしょうか？
- ・ 後半の部分もS Wとしてどのように対応をすることがポイントのようでしたが、ディスカッションの時はそのポイント「S Wとしての対応」が私にははっきりしなかった。その点を強調して欲しかった（S Wの方はわかっていたようだが…）。ただ、D r , N s , S W と全体で話すようなことではなかったのかと思います。
- ・ これといった1つの答えがないところに相談員の力量が問われている。→相談員の研修が必要（症例検討）
- ・ 事例を元にしたディスカッションであるが、事例の情報が少なすぎて具体的な対策を立てにくかった。

③ 講演に対する要望

- ・ プログラムをきっちり作っておいて欲しい
- ・ 開始時刻がもう少し早ければ…（30分程度。多くの方が集まるので無理でしょうね。すみません。）
- ・ 次回もワークショップ形式があればとても勉強になると思います。
- ・ また相談支援をして欲しい（これまでなかった業務で、まだ皆理解していないと思う）。
- ・ 医師、N s , S W それぞれの分野、視点が聞けてよかったので、こういう場がたく

さん持てればと思います。

- ・ 長崎でも進んだがん治療が受けれるために中央が今まで取り組んできたことを数多く紹介して欲しい。
- ・ またおなじような形のものも実施していただきたい。
- ・ いろいろな職種の方の講演を聴講したいです。
- ・ 講演のスライドを配布資料にして欲しかった→最後に頂きました、ありがとうございました。

次回の講演で希望すること

- ・ 場所がわかりづらい。
- ・ あらかじめ予定を教えてください。
- ・ 平日の夕方が良いです。
- ・ 大学病院での相談の現状など知りたいと思います。ホスピス相談に来院される方で、ホスピスの事と不安など話されることも多くあります。
- ・ 医師、Ns, SWのそれぞれの取り組み、どのようなことをされているのか聞きたいです。
- ・ 大変申し訳ございません、私のところまで今回の研修会があることが連絡が来ませんでした。次回、直接ご連絡いただければと思います。当院の連絡ミスかもしれませんが。
- ・ 連携パス

がん診療センターに対する要望

- ・ センターにおけるMSWのかかわり。どこまで病気に対して情報提供していいのか、センター職員（それぞれ）の具体的役割を知りたいです。
- ・ ML大賛成です。